PAT-NO:

JP402245733A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 02245733 A

TITLE:

COLOR LIQUID CRYSTAL DISPLAY DEVICE

PUBN-DATE:

October 1, 1990

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

SAITOU, TERUJI

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

HITACHI LTD

N/A

HITACHI DEVICE ENG CO LTD N/A

APPL-NO: JP01066155

APPL-DATE: March 20, 1989

INT-CL (IPC): G02F001/1335

US-CL-CURRENT: 349/106 , 349/108

ABSTRACT:

PURPOSE: To improve the color mixing property of one dot and to improve the quality of an image on a liq. crystal display screen by forming one dot from four color filters arranged in two lines.

CONSTITUTION: Red filters R and blue filters B are alternately arranged in a line, green filters G and white filters W are alternately arranged in a line and such lines are alternately arranged parallel to each other. One dot is formed from four color filters arranged in two lines, that is, red, blue, green and white filters R, B, G, W. Since the color filters are not arranged in a line, the color mixing property of one dot is improved and the quality of an image is improved.

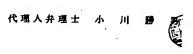
COPYRIGHT: (C) 1990, JPO&Japio

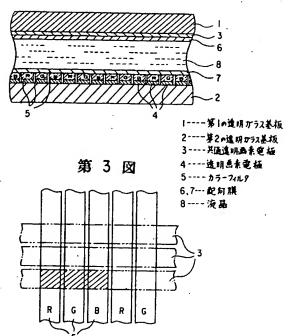
5 … カラーフィルタ

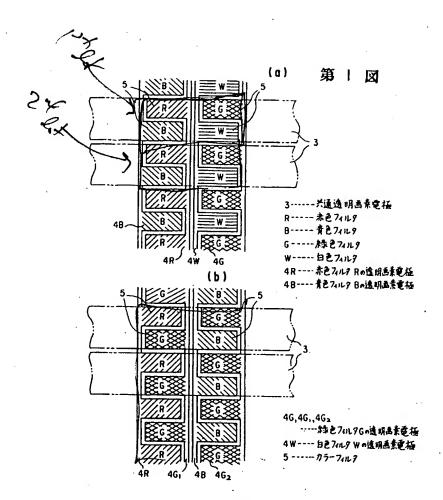
6、7…配向膜

8 … 液晶

第 2 図







⑲ 日本国特許庁(JP)

⑩ 特 許 出 顯 公 開

⑫ 公 開 特 許 公 報 (A) 平2-245733

Int. Cl. 5

識別記号

庁内整理番号

❸公開 平成2年(1990)10月1日

G 02 F 1/1335 505

8106-2H

審査請求 未請求 請求項の数 3 (全4頁)

会発明の名称

カラー液晶表示装置

2044 類 平1-66155

22出 願 平1(1989)3月20日

@発 明

輝 児

千葉県茂原市早野3300番地 日立デバイスエンジニアリン

グ株式会社内

勿出 顧 人 株式会社日立製作所

東京都千代田区神田駿河台4丁目6番地

千葉県茂原市早野3681番地

创出 顋 日立デバイスエンジニ アリング株式会社

130代 理 人 弁理士 小川 勝男 外1名

1. 発明の名称

カラー液晶表示装置

- 1.2列に2個ずつ配列された4個のカラーフィ ルタで1ドットが構成されていることを特徴と するカラー被晶表示装置。
- 2. 上記4個のカラーフィルタが赤色フィルタ 緑色フィルタ、青色フィルタ、白色フィルタで あることを特徴とする請求項1記載のカラー液 晶表示装置。
- 3. 上記4個のカラーフィルタが赤色フィルタ、 青色フィルタ、 2.個の緑色フィルタであること を特徴とする請求項1記載のカラー液晶表示装 贺.

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は、単純マトリックス方式やTFTアク ティブマトリックス方式等のカラー被晶表示装置 に係り、特に、カラーフィルタの色の配置に関す δ.

〔従来の技術〕

第2回は、従来の単純マトリックス方式のカラ 一液晶表示装置の液晶表示部の概略部分断面図、 第3図は、第2図に示した液晶表示装置のカラー フィルタの配置を示す概略部分平面図である。

1は第1の透明ガラス装板、2は第2の透明ガ ラス基板、 3 は共通の電圧が印加される共通透明 國素電極、4は各信号電圧が印加される透明画素 電極、5はカラーフィルタ、6、7は液晶分子の 向きを設定するための配向膜、8は液晶である。 カラーフィルタの保護膜等は図示省略してある。 カラーフィルタの色は3色で、赤、緑、背の3原 色である。Rは赤色フィルタ、Gは緑色フィルタ、 Bは青色フィルタである。単純マトリックス方式 の液晶表示装置では、カラーフィルタの各形状は ストライプ状をしており、各列はそれぞれ1色で 構成され、3色のフィルタR、G、Bの3列が繰 り返し配列されている。被晶表示画面の1単位で ある 1 ドットは図の斜線で示され、一方向に並ん だ3色のフィルタRGBで構成される。透明画案

電極4もカラーフィルタと同形状をしており、カラーフィルタの下にそれぞれ設けられている(第2回参照)。共通透明画素電極3もストライプ状をしており、透明画素電極4と直角に交わるように配列されている。

カラー被晶表示装置については、例えば、テレビジョン学会技術報告 IPD106-2 57~62頁昭和61年3月20日「a-Si TFTによる大面積高精細アクティブマトリックスカラー液晶ディスプレイデバイス」に記載されている。

(発明が解決しようとする課題)

従来のカラー被品表示装置では、カラーフィルタが各色 1 列ずつ配列されているので、1 ドットを構成する 3 色のフィルタが一方向に長く配列に 2 色の混り 1 における 3 色の混ら 2 色性と称す)が悪い問題がある 5 息を 2 は、カラーフィルタの色は、赤、緑、青の 3 原色で構成されており、白を 表示するときは、 3 色を 光らせて(すなわち、 透明 画素電極間の 電圧 印加により 液晶分子の向きを変化させ、バックラ

ラー液晶表示装置は、上記4個のカラーフィルタを、赤、青を1個ずつと2個の緑で構成する。この場合、2個の緑のフィルタをそれぞれ上記2列において斜向いに配置するのが望ましい。

(作用)

本発明のカラー被品表示装置は、2列に2個ずつ配列された4個のカラーフィルタで1ドットを構成するので、従来のフィルタ配置のように、1ドットにおいて1ドットを構成する複数色のフィルタが一方向に並んで長く配置されるのではなく2列2行に4分割されて配置されているので、混色性を高めることができ、従って、画質を向上できる。

また、1ドットにおいて、赤、緑、青の3原色のフィルタの他に、白のフィルタを追加し、白を表示する場合は白フィルタを点盤させることにより、白をきれいに表示することができる。

さらに、1ドットにおいて、赤、骨、緑の3原 色のフィルタに、緑のフィルタを追加し、つまり 2個の緑のフィルタを設けることにより、緑の面 イトの光をカラーフィルタに照射させて)、白を 得ている。従って、白がきれいに表示されない問 題がある。

さらに、縁を表示するとき、色が弱い問題があ る。

本発明の第1の目的は、1ドットの混色性を高め、被晶表示画面の画質が向上できるカラー液晶表示装置を提供することにある。

本発明の第2の目的は、白をきれいに表示できるカラー被晶波示装置を提供することにある。

本発明の第3の目的は、縁をきれいに表示できるカラー液晶表示装置を提供することにある。

(課題を解決するための手段)

上記第1の目的を達成するために、本発明のカラー液晶表示装置は、2列に2個ずつ配列された4個のカラーフィルタで1ドットを構成する。

上記第2の目的を逮成するために、本発明のカラー液晶表示装置は、上記4個のカラーフィルタを赤、緑、青、白のフィルタで構成する。

上記第3の目的を達成するために、本発明のカ

機が2倍になるので、色の弱い緑をきれいに表示することができる。この場合、2個の緑のフィルタをそれぞれ上記2列に斜向いに配置する方が、パランスがよくきれいなドット表示が可能となる。 (実施例)

第1図(a)は、本発明のカラー液晶表示装置 のカラーフィルタの配置の一実施例を示す概略平 面図である。

5はフィルタ、Rは赤色フィルタ(右上がり斜線で示す)、Bは青色フィルタ(右下がり斜線)、Gは緑色フィルタ(交差斜線)、Wは白色フィルタ(横線)である。二点頻線で示される3は別の透明ガラス基板に設けられた共通透明面素電極、4Bは青色フィルタRの透明面素電極、4Gは緑色フィルタの透明面素電極、4Wは白色フィルタwの透明面素電極である。

本実施例では、列方向(抵面の垂直方向)に赤色フィルタ R と青色フィルタ B とが交互に配置されて成る 1 列と、緑色フィルタ G と白色フィルタ

特開平2-245733 (3)

Wとが交互に配置されて成る1列とで構成される2列が繰り返し配列されている。すな個の赤赤色の配列された4個の赤赤色のイルタ B、緑色フィルタ B、緑色フィルタ B、緑色フィルタ B、緑色フィルタ C ではないではないでは、1ドットに配置でするかではないで、混色性を高めることができ、赤白ののクロない。 は、1 によいではないで、混色性を高めるにはないで、 は、1 によいではないで、 は、1 によいではないで、 は、1 によいではないで、 は、1 によいではないではないでは、 自をきれいに表示することにより、 自をきれいに表示することにより、 自をきれいに表示することにより、 自をきれいに表示する。

第1図(b)は、本発明のカラー液晶表示装置のカラーフィルタの配置の別の実施例を示す優略 平面図である。

本実施例では、列方向(紙面の垂直方向)に赤色フィルタ R と緑色フィルタ G とが交互に配置されて成る 1 列と、緑色フィルタ G と青色フィルタ

2 列が繰り返し配列されている。すなわち、1ド ットは、2列に2個ずつ配列された4個の赤色フ イルタR、青色フィルタB、緑色フィルタG、緑 色フィルタGで構成されている。従って、上記実 施例と同様に混色性を高めることができ、 画賞を 向上できる。また、1ドットにおいて、赤、緑、 青の3原色のフィルタR、G、Bに、緑のフィル ダ G が追加され、つまり 2 個の緑色フィルタが設 けられているので、緑色フィルタの面積が2倍で あり、色の弱い緑をきれいに表示することができ る。また、2個の各級色フィルタGが2列に斜向 いに配置されているので、パランスがよくきれい なドット表示が可能となる。なお、本実施例では、 緑色フィルタGの透明画素電価4G。と4G。との 信号電圧は共通である。 なお、本発明は、上記実施例に限定されるもの

Gとが交互に配置されて成る1列とで構成される

なお、本発明は、上記実施例に限定されるものではなく、その要旨を逸脱しない範囲において穏々変更可能であることは勿論である。例えば、上記実施例では、単純マトリックス方式の液晶表示

装置について説明したが、TFTアクティブマトリックス被晶表示装置にも全く同様に適用可能であることは言うまでもない。また、第1回(a)、(b)に示した実施例のフィルタ配置はあくまでも一例であり、特許請求の範囲内で他の配置を取ることが可能である。さらに、第1回(a)、

(b) に斜線で示した1ドットの形状を正方形にすることにより、混色性をより高め、また、直線、曲線や文字パターン等をきれいに表示することができ、さらに、1ドットのみを点盤させた場合も正方形なので体裁がよい。

(発明の効果)

以上説明したように、本発明のカラー液晶表示 装置によれば、1ドットの混色性を高めることが でき、函質を向上できる。また、従来、きれいに 表示されにくかった白、縁をきれいに表示するこ ともできる。

4. 図面の簡単な説明

第1回(a)は、本発明のカラー液晶表示装置 のカラーフィルタ配置の一実施例を示す概略平面 図、第1図(b)は、本発明のカラー液晶表示装置のカラーフィルタ配置の別の実施例を示す概略 平面図、第2図は、従来の単純マトリックス方式 のカラー液晶表示装置の液晶表示部の概略部分 面図、第3図は、第2図に示した液晶表示装置の カラーフィルタの配置を示す概略部分平面図である。

R…赤色フィルタ

B…青色フィルタ

G…緑色フィルタ

₩…白色フィルタ

4 R、 4 G₁、 4 G₁… 赤色フィルタ R の透明 画 崇 電極

4.B…背色フィルタBの透明画楽電極

4 G…緑色フィルタGの透明菌素電極

4 ₩…白色フィルタ₩の透明菌素電極

1…第1の透明ガラス基板

2…第2の適明ガラス基板

3 …共通透明面素電極

4 … 透明菌素電極